

おめでとうございますー5月の表彰ー

5月18日(金)、中間テストが終わった後の6校時、体育館で全校集会を行いました。6月10日に行われる水泳を残し、ほぼ1カ月にわたって熱戦を繰り広げた春季大会と、大泉文化むらで行われた吹奏楽部の東部地区ソロコンテスト、そしてダンスに関わる表彰です。表彰されたのは以下の人たちです。おめでとうございます。

【ソフトテニス部】

※敬称、記録略 (数字)は学年

○ 市春季大会

女子団体 第3位 能澤董(3) 安藤萌百(3) 村岡美桜(3) 小島悠那(3)
櫻井凜花(3) 松本珠莉愛(3) 藤田瑚白(3) 後藤優花(3)

【陸上部】

○ 市春季大会

女子共通走高跳 第4位 藤田優(2)
男子共通走高跳 第8位 瀬戸遥稀(1)
女子1年100m 第6位 田村心菜(1)
男子1年1500m 第4位 宮崎裕太(1)
第6位 兒玉結貴(1)

【吹奏楽部】

○ 東部地区ソロコンテスト

トランペット独奏 銅賞 今泉涼(3)
打楽器独奏 銅賞 國枝美玖(3)

【ダンス】

○ WORLD OF DANCE NIIGATA

第1位 田中獎一(2)

失敗に学ぶ

平成30年度最初の定期テストである一学期中間テストが終わりました。久しぶりの定期テストという点、特に1年生の皆さんにとっては初めての定期テストという点で、ペースがつかめず、課題が残った人もいたのではないのでしょうか。そこで、今後、参考にしてもらえるようなお話を全校集会でいたしました。今度の中間テストで万事うまくいった人にも参考にしてもらえればありがたいと思います。

中間テストお疲れ様でした。納得のいく準備はできたでしょうか？特に1年生のみなさん、入学後初めての定期テストだったわけですが、うまくいきましたか？疲れたでしょう。この後、先生方が一生懸命採点してくださって、間もなく結果がお手元に届くかと思えます。今から点数が気になりますよね。よい結果なら何の問題もありません。しっかりと授業を受け内容を十分理解して、予習復習をしっかり行った成果だと思えますので、そういう人は、その努力を是非続けていってください。

でも、皆が皆うまくやれるとは限りませんよね。テスト直後の今も「もうちょっと頑張ればよかったな」と思っている人がいるのではないのでしょうか。胸の中に浮かんだそのつぶやきを大切にしてください。今日は、そんな思いを胸に抱いている人に向けたお話をします。今日はうまくいったと感じている人も何かの参考にはなりますので耳を貸してください。

あれは私が高校1年の時のことでした。勉強を行う上で忘れることのできない話を聞いたのです。場面は高校が実施した進路講演会、講師は当時日本で最も有名な大学進学のための受験雑誌の編集長でした。その話とはこういうものです。

編集長は大学進学の実績で当時日本一（今でも有名どころです）と言われていた高校に見学に行ったんだそうです。授業参観をしているとき、先生の質問に手を上げて答えた生徒のその答えがまったく見当違いの答えで、教室中爆笑になったのだそうです。すると、その生徒は顔を真っ赤にして腰をおろすなり、その問題の欄外に猛然と「この問題で僕はこう答えて皆に大笑いされた」と大きな字で書きました。

授業が終わってすぐ、編集長はその生徒にこう質問しました。「答えを間違えた上に落書きみたいなこととしてはまずいんじゃないの？」すると、その生徒はこう答えました。

「いいえ、残念ながら今日の授業では正解が出せず僕は悔しい思いをしました。でも、この悔しさを忘れない限り、この問題がテストや入試に出たとき、僕は二度と間違えないはずです。だから、悔しい思いを忘れないようにしているんです。」

この答えを聞いた編集長は、なるほど、この高校の実績はこういったところから生まれているんだと思ったんだそうです。

このエピソードから、私は失敗と向き合うことの大切さを学びました。完全とは言えない人間は、勉強に限らずたくさんの失敗をするものです。人の命を奪うとか人の心を傷つけるといったことでない限り、失敗をするのはある程度しかたのないことだと思います。でも、同じ失敗を何度も繰り返すのはいただけません。私たちは、失敗としっかり向き合い、二度と同じことを繰り返さないようにしていく必要があるのです。

話を今回の中間テストに戻しましょう。答案が戻ってきたら、①どの学習内容が理解できていないのか②理解できていない原因はどこにあったのかを徹底的に分析してください。中には二度と見たくないような点数の答案もあるかも知れませんが、そういう人ほど、そのできなかった答案と向き合う必要があります。

そして、失敗の原因が分かった人は、期末テストに向けて同じ失敗を繰り返さないように手を打ってください。例えば、ゲームのやりすぎが失敗の原因だと分かったら、すっぱりゲームを止めましょう。成長とは失敗を活（い）かすその先に待っているものです。

テストが終わったばかりの疲れている中で、大変重いお話をしてしまいましたが、「鉄は熱いうちに打て」の言葉どおり、今だからこそ皆さんの体に染みこむのではないかと思ってお話ししました。静かに聴いてくれてありがとう。